

**JASDAQ**

平成 30 年 6 月 26 日

各 位

上場会社名 **株式会社 やまねメディカル**
(コード番号 2144 : JASDAQ)
本店所在地 東京都中央区八重洲二丁目 7 番 16 号
代 表 者 代表取締役社長 山 根 洋 一
問 合 せ 先 経 理 財 務 部 長 西 山 勇 二
電 話 番 号 (03)5201-3995
(URL <http://www.ymmd.co.jp/>)

当社株式の業績基準に係る猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成 27 年 3 月期から平成 30 年 3 月期まで 4 期連続して営業利益及び営業キャッシュ・フローがマイナスとなったことから、本日の株式会社東京証券取引所からの発表のとおり、有価証券上場規程第 604 条の 4 第 1 項第 1 号（関連規則は同第 604 条の 2 第 1 項第 2 号）に定める上場廃止基準に係る猶予期間入り銘柄となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 上場廃止に係る猶予期間入りに至った経緯

当社は、国家的重要施策である「地域包括ケアシステム」の構築というわが国社会保障制度・高齢者福祉制度の基本設計を踏まえて、その推進拠点として、サービス付き高齢者向け住宅事業及び同住宅事業に併設の通所介護施設をコアとする総合ケアセンター事業を運営しております。

当該事業は、先例のない事業であったことから、事業モデルの構築の研究開発と運営ノウハウの蓄積に多額の先行投資コストを投入し、かつ当該事業開始後 5 年間に 68 箇所のセンターを新規開設しその初期赤字が集中的に発生したため、黒字化まで相当期間を要してきました。平成 30 年 3 月期は黒字化を期して既設センター稼働率向上に注力し業績は着実に改善いたしました。が、人員配置の適正化が不十分であったことに加え労働需給の逼迫から労務費の増加、物流コスト・原材料費の高騰による給食原価の増加、支払消費税の増加、本社移転費用の発生が重なり、通期ではなお赤字が残存し、結果的に 4 期連続して営業利益及び営業キャッシュ・フローがマイナスの状況となりました。

2. 猶予期間

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

3. 今後の見通し

当社の総合ケアセンターの特性である「通所、宿泊、住宅、生活支援」等のサービスを切れ目なく提供できると同時に、QOL・ADL の大きな改善を実現できる先進的サービスの優位性を積極的に訴求するとともに、顧客満足度の最大化を通じて、通所介護ご利用者数の増加及び高齢者住宅の早期満室化を推進してまいります。

今期は新規センター拠点開設を見送り、初期赤字の発生をゼロ化するとともに既設拠点の稼働率向上に集中的に取り組んでおり、業績は着実に改善しつつあります。

さらに、子会社が運営するフードサービス事業及び日常生活用品販売等の高齢者向け生活支援サービスも、着実な業容拡大基調にあります。

これらの対策により、今期になってようやく過年度の先行投資が結実し、確実に黒字を確保しつつ業績回復が加速する局面に入ったと考えております。

これを通じて業績基準に係る猶予期間の解除は当然できるものと考えております。

以 上